

取得可能な資格

<教員免許状>

高等学校教諭一種(英語)

●1年間の海外留学を義務化

国際教養大学では、すべての学生に海外の提携大学(29カ国・地域の91大学から選択)に1年間留学することを義務づけています。海外留学というと高額な授業料を想像されると思いますが、国際教養大学の留学システムでは、本学に授業料(年額535,800円)を収めることで、原則、留学先の大学の授業料は免除されます。また、安心して留学生活を送れるよう、専門のスタッフが留学中もきめ細かなサポートを提供しています。

●他大学が真似できない面倒見の良さ

国際教養大学では、1科目当りの平均登録学生数が15人と徹底した少人数教育を行っています。また、図書館とコンピュータールームは24時間365日オープンしており、学生がしっかりと勉強に集中できる環境を整えています。また、個別相談に力を入れたきめ細かな進路支援により、大手商社をはじめ卒業生の就職状況も順調です。2008年は就職決定率100%を達成し、2009年は就職率ランキング全国1位となっています。

●キャンパスは異文化空間

国際教養大学では、毎学期100人以上の外国人留学生在が訪れ学んでいます。授業はもちろん、留学生と寮や学内アパートでルームメートになったり、クラブ活動を楽しんだり、大学生生活のすべてが異文化交流の舞台となっています。また、ほぼすべての都道府県から学生が集まっているため、国境を越えた異文化体験に加え、日本国内の多彩な文化にも触れることができます。

■受験生へのメッセージ

●国際教養大学理事長・学長 中嶋嶺雄先生

世界へはばたく諸君へ!

2009年4月、国際教養大学は開学5周年を迎えました。この間「国際教養」という新しい教学理念を掲げ「世界を舞台に活躍できる人材の育成」に励んできた結果、卒業生の就職・進学はすこぶる順調であり、少数精鋭による厳しい教育プログラムによって鍛え上げられたAIU卒業生の活躍が大いに期待されています。

本学においては「すべてが英語での授業」「新入生は外国人留學生と共に1年間の寮生活」「卒業するまでに必ず1年間の海外留学」など、学生たちはこれまでに経験のないチャレンジを積み重ねます。それは決してやさしい道ではありませんが、24時間オープンな図書館が示すとおり、本学の教職員は時に親となり、友人となつて、学生たちを全力で支えています。また、学生たちは勉学に加え、クラブ活動、

国際社会や地域との交流、イベントの企画・運営など驚くほどのバイタリティーで充実した時を過ごしています。

21世紀の世界にはばたこうとする意欲的な受験生諸君!是非本学に挑戦してください。みなさんを強く大きく育てることを約束いたします。

●国際教養学部グローバル・スタディズ課程4年 小川裕史さん

自分を確実に成長させたい—そんな人にお勧めです!

私たちの大学では、「最初の1年間は寮生活」「留学が1年間必修」「授業はすべて英語で」という他の大学にはない色々な特徴をもっています。また、留学に行くための厳しい基準をパスしなければならず、英語の授業の単位取得も一筋縄ではないため、正直なところ在中はかなり苦労します。ですが、それらを乗り越えることで確実に自分を成長させることができます。留学から帰ってくる頃には、皆自分に自信をもって帰ってきます。例えば、就職活動の面接で話すことが何もない、などということは絶対になくなっていきます。山の中にあるきれいなキャンパスで、寮生活で仲良くなった仲間と一緒に目標に向かって頑張れる、そんな恵まれた環境が国際教養大学にはあります。

●国際教養学部グローバル・ビジネス課程卒業 板垣泰二郎さん

大学と就職—世界で活かす実践的な教育—

“Be a Leader in the Global Society!”という大学のスローガンの下で学んだ4年間を振り返ると、本学のカリキュラムは真の国際人をめざす志の高い者のために用意されていたのだと実感します。「すべての授業が英語」「1年間の全寮制」「留学必修」等はそのほんの一例に過ぎず、入学後は卒業までいくつもの壁を乗り越えなければならず、私の大学生活も挑戦の連続でした。そんな大学生活と留学生活を通して、将来は世界のフィールドで仕事をしたいと感じ、就職活動を行いました。私が現在所属する販売統括部は世界60カ国以上に向け自社製品を販売する中心機能として存在しています。日常業務では当然ながら海外と英語でのやりとりが多く、さらにそれにはスピードと正確さが要求されます。大学時代は入学後1年半に及び英作文の講義で鍛えられたので、入社直後から英語のメールやレターにも全く抵抗なく業務を遂行しています。またビジネスの講義では外国人との討論やプレゼンテーションを経験しているので、実際のコミュニケーションにも不安はありません。将来は自分の足で世界を回り新規マーケットの開拓等、世界を舞台に挑戦を重ねていきたいです。

*2009年3月学部卒業。現在、三菱マテリアル株式会社加工事業カンパニー勤務。